

# 令和6年度大規模公共事業評価の実施状況（継続評価）

令和6年11月26日  
政策企画部政策企画課

## 1 評価の目的

大規模事業評価は、厳しい財政環境の中にあつて、大規模事業の効果的・効率的な推進に資するとともに、県民への説明責任を果たすことを目的とし、平成16年度から実施しています。

この度、令和6年度大規模公共事業評価の継続評価結果を取りまとめましたので、政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）の規定に基づき、実施状況を公表するものです。

## 2 評価の対象

令和6年度に実施している大規模公共事業のうち、翌年度に継続を予定している事業（ただし、再評価の対象となった事業を除く。）

所管部局	継続評価対象
農林水産部	2地区
県土整備部	15地区
合計	17地区

## 3 評価の実施時期

令和6年10月

## 4 評価の方法

「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標からみた評価※」の2つの項目について評価を行い、これらの項目評価の結果を踏まえ総合評価を行いました。

※ 事業ごとの評価指標に基づき、「必要性」、「重要性」、「緊急性」、「効率性（費用便益比（B/C）」、「熟度」の5項目について点数化（100点満点）し、評価するもの。

## 5 評価結果

所管部局	評価実施地区数	総合評価			
		A A	A	B	C
農林水産部	2	2	0	0	0
県土整備部	15	7	8	0	0
合計	17 (100.0%)	9 (52.9%)	8 (47.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 6 評価調書

別添のとおり。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

- 大規模事業評価の制度全般について：政策企画部政策企画課評価担当（電話 019-629-5181）
- 大規模事業評価の事業地区など詳細について：農林水産部農林水産企画室（電話 019-629-5623）  
県土整備部建設技術振興課（電話 019-629-5951）



# 令和6年度 大規模公共事業 継続評価調書

## 目次

1	大規模公共事業 継続評価事業別評価地区数	.....	1
2	大規模公共事業 継続評価調書（箇所一覧）	.....	2
3	大規模公共事業 継続評価調書（箇所別）※	.....	5

※ 継続評価を行うに当たり、特に必要と認めるものについては箇所別に調書を作成。



## 継続評価

### 大規模事業継続評価 事業別評価地区数

#### 【農林水産部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
農業農村整備事業	1 経営体育成基盤整備事業	農村建設課	2				2
	小計		2				2
	合計		2				2

#### 【県土整備部】

事業の種類	事業名	担当課	総合評価区分				
			AA	A	B	C	合計
道路事業	2 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)	道路建設課		2			2
	3 地域連携道路整備事業(地域密着型)	〃		1			1
	小計			3			3
河川事業	4 広域河川改修事業	河川課	4	3			7
	5 総合流域防災事業(河川)	〃	1				1
	小計		5	3			8
下水道事業	6 流域下水道事業	下水環境課	2	2			4
	小計		2	2			4
	合計		7	8			15

継続評価 合計			9	8			17
---------	--	--	---	---	--	--	----

# 継続評価

## 大規模公共事業 継続評価調書(箇所一覧)

### 農林水産部農村建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	参考B/C	
										必要性(25)	重要性(15)	緊急性(20)	効率性(20)	熟度(20)	計(100)			
経営体育成基盤整備事業	下横瀬	奥州市	R1	R10	区画整理 174.6ha 暗渠排水 162.2ha	6,491,000	803,798	12.4%	a	25	13	16.66	12	18.75	85.41	a	AA	1.30
	小山中央北	奥州市	R1	R10	区画整理 226.1ha 暗渠排水 145.0ha	6,189,000	1,065,710	17.2%	a	25	13	16.66	12	18.75	85.41	a	AA	1.38

※修正B/C…費用便益比(B/C)を基に、所得水準や物価水準といった地域間格差を考慮した各地域別の地域修正係数を乗じた修正費用便益比を参考表示しています。

### 県土整備部道路建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	参考B/C (※修正B/C)	
										必要性(30)	重要性(30)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(5)	計(100)			
地域連携道路整備事業 (ネットワーク形成型)	国 397号	奥州市 小谷木橋	H24	R7	道路改築 L=1,420m	13,200,000	12,844,108	97.3%	a	16	27	10	15	5	73	b	A	1.0 (1.5)
	国 107号	大船渡市・住田町 白石峠	R4	R13	道路改築 L=2,700m	9,400,000	167,000	1.8%	a	19	30	5	15	2	71	b	A	1.2★ (2.8)

★…当該工区は補助事業のため、国の指針等により算出。

### 県土整備部道路建設課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	参考B/C (※1修正B/C)	
										必要性(30)	重要性(20)	緊急性(15)	効率性(20)	熟度(15)	計(100)			
地域連携道路整備事業 (地域密着型)	一 大ケ生徳田線	盛岡市、矢巾町 徳田橋	H23	R10	道路改築 L=1,200m	9,350,000	8,043,736	86.0%	a	11	17	10	18	15	71	b	A	1.7 (2.4)

# 継続評価

## 大規模公共事業 継続評価調書(箇所一覧)

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	参考B/C	
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)			
広域河川改修事業	岩崎川	紫波町、矢巾町	H4	R19	L= 11,940m 築堤、掘削、護岸	20,414,000	15,832,000	77.6%	a	30	5	12	40	10	97	a	AA	20.6
	千厩川(中流)	一関市	S43	R22	L=2,130m 築堤、掘削、護岸	7,047,800	4,344,000	61.6%	a	28	5	6	40	10	89	a	AA	25.0
	木賊川	盛岡市、滝沢市	S61	R19	L= 6,000m 築堤、掘削、護岸	13,748,000	6,536,000	47.5%	a	30	5	8	40	5	88	a	AA	16.5
	猿ヶ石川	遠野市	S53	R9	L= 12,200m 築堤、掘削、護岸	11,500,000	11,193,000	97.3%	a	28	5	6	35	10	84	a	AA	4.0
	北上川(上流)	岩手町	H23	R11	L=4,600m 築堤、掘削、護岸	8,300,000	6,442,000	77.6%	a	29	5	12	20	10	76	b	A	1.4
	気仙川	陸前高田市、住田町	H27	R12	L=12,800m 築堤、掘削、護岸、橋梁2基	5,750,000	4,769,000	82.9%	a	30	5	11	20	10	76	b	A	1.2
	小屋畑川	久慈市	R3	R8	L=2,250m 河道付替え、掘削	7,000,000	2,117,000	30.2%	a	30	5	9	20	10	74	b	A	1.3

県土整備部河川課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み			継続評価結果								特記事項
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費① (千円)	事業費② (千円)	進捗率②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価						総合評価	参考B/C	
										必要性(30)	重要性(5)	緊急性(15)	効率性(40)	熟度(10)	計(100)			
総合流域防災事業(河川)	閉伊川	宮古市	S39	R14	L=6,475m 築堤、掘削、護岸	5,730,000	3,892,000	67.9%	a	30	5	13	40	10	98	a	AA	27.2

# 継続評価

## 大規模公共事業 継続評価調書(箇所一覧)

県土整備部下水環境課

事業名	路線名等	箇所名	事業計画				令和6年度までの進捗見込み		継続評価結果									特記事項	
			着手年度	完了予定年度	主な事業内容	総事業費 ① (千円)	事業費 ② (千円)	進捗率 ②/① (%)	自然環境等の状況に係る評価結果	事業に関する指標からみた評価							総合評価		参考 B/C
										必要性 (25)	重要性 (25)	緊急性 (20)	効率性 (20)	熟度 (10)	計 (100)	評価結果			
流域下水道事業	北上川上流流域都南処理区	盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町	S49	R12	処理能力 162,000m <sup>3</sup> 管渠延長 83.3km	121,700,000	120,842,350	99.3%	a	25	23	4	20	10	82	a	AA	2.1	
	北上川上流流域花北処理区	花巻市、北上市	S54	R12	処理能力 48,010m <sup>3</sup> 管渠延長 42.7km	55,700,000	50,644,352	90.9%	a	25	23	4	20	10	82	a	AA	1.4	
	北上川上流流域胆江処理区	奥州市、金ケ崎町	S61	R12	処理能力 33,200m <sup>3</sup> 管渠延長 20.7km	34,500,000	32,147,558	93.2%	a	21	23	4	20	10	78	b	A	1.5	
	磐井川流域一関処理区	一関市、平泉町	S57	R12	処理能力 21,200m <sup>3</sup> 管渠延長 8.9km	24,000,000	21,741,937	90.6%	a	21	23	4	20	10	78	b	A	1.1	



事業名	経営体育成基盤整備事業 (国庫：農業競争力強化基盤整備事業)		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課	
路線名等	—		地区名	シモコゼ 下横瀬	市町村	奥州市
事業概要	〔事業根拠法令等： 土地改良法 〕					
	(1) 事業目的 農地の大区画化（面積30 a ～ 1 ha）と農道の整備（幅員 5 m）等により、大型農業用機械の導入等による農作業効率の向上が図られ、担い手への農地利用の集積・集約化が加速される。 また、用水のパイプライン化による安定供給及び管理の省力化、排水のコンクリート水路化及び暗渠排水の整備など排水条件の改善による乾田化が図られ、農業者が自ら作物を選択できる状況となるため、水田の有効活用が実現できる。					
	(2) 事業内容 区画整理： 174.6ha					
	(3) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間： 令和元年度 ～ 令和10年度 ○総事業費： 6,491百万円					
	事業計画期間		総事業費		令和6年度までの進捗見込み	
着手年度	完了予定年度	①〔千円〕		②事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①	
R1	R10	6,491,000		803,798	12.4%	
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況 ・区画整理は、令和5年度までに6.0haの整備を完了している。 ・区画拡大や道路及び用排水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積化が進んでいる。 ※集積率 R1(事業実施前)20.8%、R11(目標年度)95.1%、R5実績31.1%(10.3ポイント上昇)					
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ・令和5年度から区画整理工事に着手したことから、今後、工事を進め、換地手続きを経て令和10年度に完了する見通し。					
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢					
	ア 本県内又は施工地域における状況 ・「いわて県民計画（2019～2028）」において、農業農村整備事業では、収益力の高い農林水産業を実現するため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など、生産基盤の整備を着実に推進することとしている。					
(2) 自然環境等の状況						
ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分						
・ 岩手県自然環境保全指針による保全区分				B、D		
・ 希少野生動植物の生息の有無				有		
・ 埋蔵文化財包蔵地の有無				有		

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
状  
況

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

事業実施に当たっては、奥州地区希少野生動植物調査検討委員会の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境との調和に配慮しながら進める。

- ① 動物に対する配慮  
対象動物について、工事期間中は生息が可能な隣接地に移動し、工事の完了後に元の生息地に移動する。
- ② 植物に対する配慮  
対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。

項目評価 a . b . c

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考>
配点	25	15	20	20	20	100	費用便益比 (B/C)
評点	25	13	16.66	12	18.75	85.41	1.30

○各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。

項目評価 a . b . c

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

関連事業名：【農林水産省】国営農業水利事業 猿ヶ石用水地区(平成14年度完成)

関連事項：本地区の用水源である田瀬ダムから、上記事業により整備された猿ヶ石用水路(東部幹線用水路)により本地区へ用水が導かれている。

総合  
評価

(1) 総合評価

総合評価 AA . A . B . C

○総合評価に係るコメント

- ・ 本事業は、農地の大区画化と農道の整備等により、農作業効率の向上及び担い手への農地利用の集積・集約化を図るものである。
- ・ 「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。
- ・ 令和5年度から区画整理工事に着手し、事業完了の見通しが立っていること、「社会経済情勢等の変化」については、「事業に関する社会経済情勢」及び「自然環境等の状況」に関して大きな変化が見られないことから、「事業継続」と判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。

事業名	経営体育成基盤整備事業 (国庫：農業競争力強化基盤整備事業)		補助・単独	担当部課名	農林水産部農村建設課
路線名等	—	地区名	オヤマチュウオウキタ 小山中央北	市町村	奥州市
事業概要	〔事業根拠法令等： 土地改良法 〕				
	<p>(1) 事業目的 農地の大区画化（面積30 a～1 ha）と農道の整備（幅員5 m）等により、大型農業用機械の導入等による農作業効率の向上が図られ、担い手への農地利用の集積・集約化が加速される。 また、暗渠排水の整備により農地の排水改良と汎用化が図られることから、余剰労働力を活用したピーマン等高収益作物の作付拡大が可能となり、地域全体の収益向上が図られる。</p>				
	<p>(2) 事業内容 区画整理： 226.1ha</p>				
	<p>(3) 事業計画期間及び総事業費 ○事業計画期間： 令和元年度～令和10年度 ○総事業費： 6,189百万円</p>				
		事業計画期間	総事業費	令和6年度までの進捗見込み	
着手年度	完了予定年度	①〔千円〕	②事業費〔千円〕	進捗率 ③ = ②/①	
R1	R10	6,189,000	1,065,710	17.2%	
事業の進捗状況	<p>(1) 整備効果の発現状況 ・区画整理は、令和5年度までに44.8haの整備を完了している。 ・区画拡大や道路及び用排水路の整備により生産条件の向上が図られ、担い手への集積化が進んでいる。 ※集積率 R1(事業実施前)63.1%、R11(目標年度)100.0%、R5実績64.2%</p>				
	<p>(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し ・令和4年度から区画整理工事に着手したことから、今後、工事を進め、換地手続きを経て令和10年度に完了する見通し。</p>				
社会経済情勢等の状況	<p>(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況 ・「いわて県民計画（2019～2028）」において、農業農村整備事業では、収益力の高い農林水産業を実現するため、水田の大区画化や排水改良、農業水利施設の長寿命化対策など、生産基盤の整備を着実に推進することとしている。</p>				
	<p>(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分 ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B、D</span> ・希少野生動植物の生息の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span> 県レッドデータブックB～Dランクの種が生息 ・埋蔵文化財包蔵地の有無 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">有</span></p>				

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
状  
況

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

事業実施に当たっては、奥州地区希少野生動植物調査検討委員会の助言を受けながら必要に応じて現地調査を行うなど、環境との調和に配慮しながら進める。

① 動物に対する配慮

対象動物について、工事期間中は生息が可能な隣接地に移動し、工事の完了後に元の生息地に移動する。

② 植物に対する配慮

対象植物について、近傍で同種の植物が自生している場所に移植する。

項目評価 (a) . b . c

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参 考>
配点	25	15	20	20	20	100	費用便益比 (B/C)
評点	25	13	16.66	12	18.75	85.41	

○各評価指標の合計が80点以上であることから「a」とした。

項目評価 (a) . b . c

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

関連事業名：【農林水産省】国営かんがい排水事業 胆沢平野地区(平成10年度完成)

【岩手県】県営かんがい排水事業 胆沢平野地区(平成19年度完成)

関連事項：本地区の用水源である胆沢ダムから、上記事業により整備された幹線用水路(寿安堰)により本地区へ用水が導かれている。

総合  
評価

(1) 総合評価

総合評価 (AA) . A . B . C

○総合評価に係るコメント

- ・ 本事業は、農地の大区画化と農道の整備等により、農作業効率の向上及び担い手への農地利用の集積・集約化を図るものである。
- ・ 「自然環境等の状況」については、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的に対応をしていることから「a」評価、また「事業計画の妥当性」については、評価指標の評点の合計が80点以上となっていることから「a」評価としており、総合評価を「AA」とした。
- ・ 令和4年度から区画整理事事に着手し、事業完了の見通しが立っていること、「社会経済情勢等の変化」については、「事業に関する社会経済情勢」及び「自然環境等の状況」に関して大きな変化が見られないことから、「事業継続」と判断したものである。

(2) その他特記事項

特になし。